

熱い想いを音楽会に繋げよう！

団長 加山 忠

昨年の佐賀祭典は大成功でしたが、佐賀と言え、影の薄さは全国一とまで言われ、それ故に佐賀県のキャッチーは「佐賀をさがそう！」でした。うたごえ人口は36人しかいなかった、というのが佐賀県の実情で、祭典候補県になった時は、無理と言う意見が多くありました。しかし、皆が手を合わせれば、必ず成功できるの信念のもと、佐賀アリーナを満杯にし、企画、組織面でも大成功させたことは、とても素晴らしいと感じました。これは、佐賀の人達の奮闘と、九州のうたごえ仲間の支援、そして、全国の支援があって祭典を大成功に導い



たとえ思います。これがうたごえの素晴らしいところであり、熱い想いが感じられました。今年、神戸市で祭典です、企画も決まり、大音楽会は完成したばかりの、港にできた「ジ・ライオンアリーナ神戸」で開催されます。私たち南部ブロックは、3月30日にGYCのコンサート(アプリコ小ホール)、4月12日には、あじさいコーラス40周年記念コンサート

その間に、メーデー、憲法集会、平和行進など、催しが、続く中の南部合唱団の音楽会、団員一同奮闘中です。今世界は、核兵器の脅威にさら

ト(大田区民プラザ)5月10日は、しながわコーラスたんぼぼ34周年コンサート(スクエア荏原ひらつかホール)、続いて5月17日は南部合唱団の音楽会(大田区民プラザ)と、コンサートが目白押しです。各団体のコンサートを通じて成功させるべく、南部のうたごえ協議

され、日本はと言えアメリカいいなりで、ますます軍国化が進み、戦争の準備をしている状態です。人のいのちと暮らしを守り、世界が平和になることをねがい、今回の音楽会はそんなことをテーマにして、タイトルを



By ゆきもと

音楽会の曲目プチ解説

テナー 小島 啓介

『ねがい』
作詞作曲 小島 啓介
編曲 赤堀 文雄

この曲は、1991年開催の南部合唱団の音楽会のために創作されたものです。一緒に創作されたのは小森香子さん作詞の「樹があるかぎり」、こちらも作曲：小島啓介、編曲：赤堀

文雄さんである。当時団員だった小野寺美穂さん(現宮城県名取市議)と一緒に赤堀さんに和声学を習う前だったので、これらの曲を作曲したとはいってもメロディーメイクしただけで、後はこの部分はこんな感じ、あの部分はあんな感じ・・・と口伝え。そして出来上がったのは”高下駄を履かせてもらった編曲”の「ねがい」「樹があるかぎり」であっ

た。特に今回歌う「ねがい」は、昨今のエコロジーを歌うのに向いている・・・ということで1991年以降歌うのは2回目だ。しかし「高下駄」の下駄はあまりに高く(難しい編曲・・・)、「この下駄、履きなせるのか？」と密かに作曲者は危惧しているが、みんなの頑張りで音楽会のタイトル曲をしっかりと仕上げて欲しい・・・とは、作詞者の「ねがい」である。

ねがい、としました。友の会の皆様のご来場を心よりお待ちしております。ご支援よろしくお願いたします。